

1月臨時会

1月20日に臨時会を開催し、単行議案1件、予算案1件について審議し、いずれも同意及び可決されました。

●議案第1号 小峰城跡清水門復元整備工事請負契約の一部変更について

【変更の理由】

- (1) 清水門の石垣工について、積増石垣の安定性を向上させるため、石材の形状を変更するものです。
- (2) 来訪者の安全性や利便性を確保するため、昇降階段の施工延長及び誘導案内看板を増工するものです。

【変更の内容】

契約金額の変更

変更前 7億5,130万円 変更後 7億7,014万3千円 1,884万3千円の増額

●議案第2号 令和6年度白河市一般会計補正予算（第7号）

【事業名】 ふるさと応援事業

【事業概要】 当初予算を上回るふるさと納税の寄付が見込まれることから、寄付者への返礼等に係る経費を計上するものです。

返礼品等 2,666万9千円

3月定例会

3月定例会が、2月27日から3月17日までの19日間の会期で開かれました。開会日には鈴木和夫市長より施政方針が述べられ、一般質問では13名、総括質疑では2名の議員が市の考えを質しました。市長提出議案は63件、令和6年度補正予算、条例の一部改正、令和7年度一般、特別、企業会計各予算、人事案件などを審議しました。議員提出議案は3件で、いずれも原案のとおり可決、または同意されました。

今号では新年度の概要と主な事業(2～4頁)、総括質疑(4頁)、請願(5頁)、賛否が分かれた令和7年度一般会計予算に関する討論(6頁)を主にお知らせします。

議案ピックアップ

- ◆市長提出議案……………63件
(うち人事案件は15頁)
- ◆請願……………1件
- ◆議員提出議案……………3件

全ての議案の審査結果は市議会ホームページをご覧ください。



新年度当初予算総額 522億4,400万円

内訳	一般会計	333億円
	特別会計	125億4,400万円
	企業会計	64億円



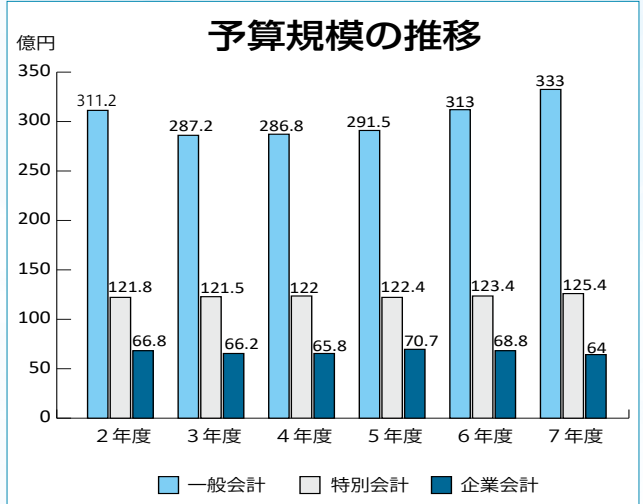
Point 一般会計とは
特別会計に属さない財政を包括的、一般的に経理する会計。福祉や教育、消防など住民に広く行われる事業における歳入・歳出の会計。



Point 特別会計とは
特定の収入、特定の支出を一般会計と切り離して独立して行われる会計のこと。本市は小田川、大屋、樋ヶ沢の各財産区ごとの会計や介護保険・国民健康保険特別会計などがある。



Point 企業会計とは
水道事業や下水道事業のように独立採算による特定の事業を経理する会計。



新年度一般会計予算

333億円

(令和6年度比較 20億円(6.4%)の増)

『小さくても確かな幸せ』『真の豊かさ』が実感できるまちづくり

令和7年度予算の概要

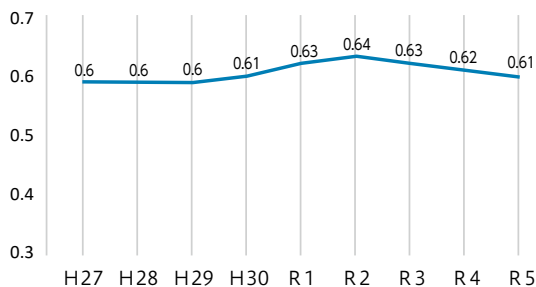
一般会計の予算の額は333億円となり、対前年度比較で20億円、率にして6.4%の増、特別会計及び企業会計を含めた全会計の予算規模は、522億4千万円となり、前年度比較で21億2千万円、率にして4.2%の増となりました。

市の財政を見る3つのポイント

合併後からの3つの指標

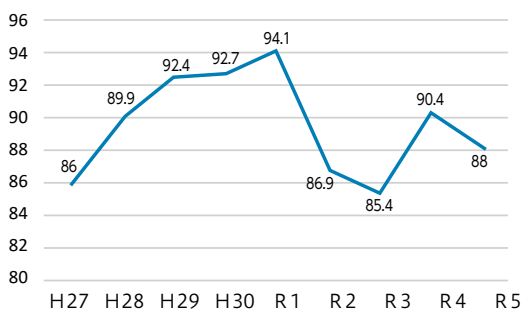
議員の視点から見る、本市の財政力

① 財政力指数



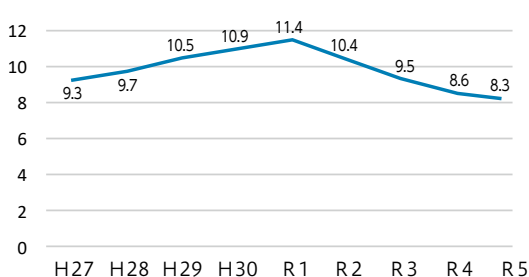
予算のうち、どのくらいを自前の税収で賄えているかを表します。この指数が高いほど財政力が高いことを示しています。

② 経常収支比率



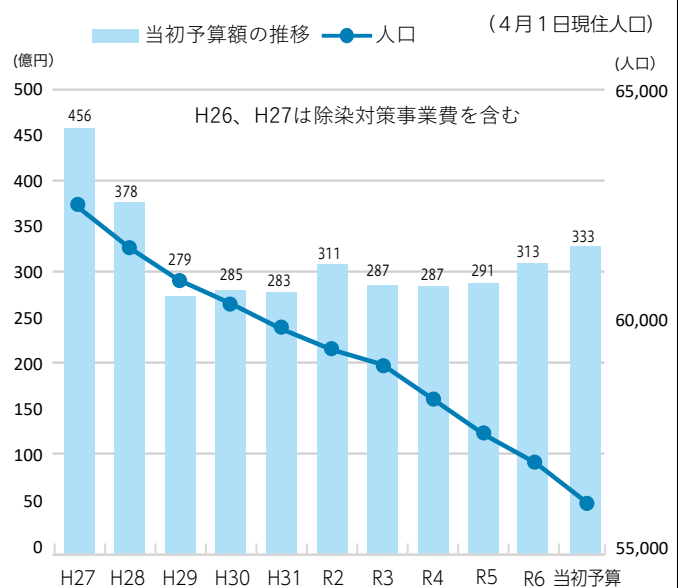
人件費等毎年かかる固定費の割合。数値が低いほど政策的に使えるお金が多くなります。

③ 実質公債費比率

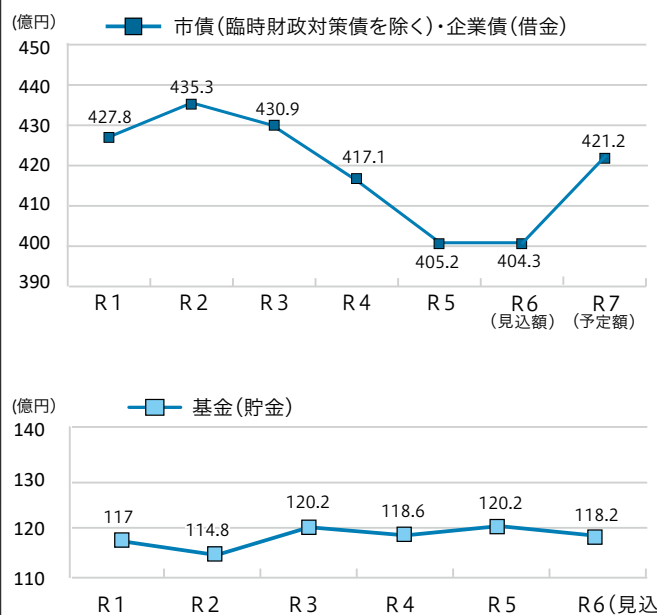


一般会計が負担する借金返済費用の割合。数値が高いほど他の事業にあてる財源を圧迫することになります。

一般会計当初予算と人口の推移



貯金と借金の状況



表郷こども園整備事業

継続

2億4,125万8千円

おもてごう保育園を表郷幼稚園の隣接地に移転新築し、表郷幼稚園と合わせて「(仮称)表郷こども園」を整備するため、令和6年度の実施設計をもとに建築工事を行う。

見守りQRコード事業

新規

56万8千円

認知症の方などが行方不明の際、身元の情報を把握できるようにするため、コールセンターにつながるQRコードが印刷されたシールを衣服や靴にあらかじめ貼り付け、早期発見、保護につなげる。

ヨル活交流事業

新規

182万6千円

未婚者の自然な出会いの場を創出するため、平日の夜間帯で気軽に交流できるイベントを定期的に開催する。

ビジネスリレーサポート事業

新規

690万円

ものづくりの高い技術や市民に親しまれてきた食など、貴重な資源を将来につなぐため、後継者不在や専門知識がないなどの理由で事業承継が進まない小規模事業者に伴走支援を実施する。

城山公園水堀水質浄化事業

新規

547万8千円

小峰城跡の貴重な構成要素である水堀について、周辺の生活環境を含めた一体的な保全を図るため、水源・水質の調査を実施する。

空き家対策事業

(相続財産清算人制度活用事業・代執行による解体工事)

新規

700万9千円

良好で快適な生活環境の形成を図るため、相続財産清算人制度の活用や代執行により特定空家等の解消を進める。

総括質疑



菅原 修一 議員

Q 廃校施設等活用促進事業補助金の事業者と事業内容について伺う。

A 旧信夫二小と旧大屋小の二校合わせて2,700万円を計上している。旧大屋小の活用については、一般社団法人オンパジョブより事業提案があり、一年間の使用貸借契約を締結する予定である。

Q 複合施設の総事業費は73億2,062万円となっているが、工事請負費の内容とその財源について伺う。

A 工事請負費は立体駐車場と施設本体建設工事で合わせて31億4,800万円となる。財源内訳は、補助金・交付金で9億924万円、市債20億7,660万円、基金1億6,224万円となっている。

Q 農業法人参入促進事業に旅費として415万円を計上しているが、事業内容を伺う。

A 施設園芸の先進国であるオランダへの視察経費である。先進国の現状を視察し、情報収集を行い、本市への農業法人誘致の可能性を探るために実施する。

深谷 弘 議員

Q 学校給食費負担軽減事業5,556万5千円は、物価高騰に伴う給食食材費を市が負担するものだが、前年度同事業対比2,514万3千円増となっている。その内訳(積算根拠)はどうなるか。

A 市の補助額は、一人一食当たり小学校65円、中学校69円、大信幼稚園67円である。小学校が2,946人で3,594万7千円、中学校が1,544人で1,906万6千円、大信幼稚園が55人で55万3千円である。

Q 余裕財源である3つの積立基金(財政調整・公共施設等整備・減債)の年度末残高が、80億円を超えている。令和6年度(2024年度)残高はどうなるか。

A 財政調整基金は、取崩額15億9,897万8千円、積立額14億405万3千円、年度末残高見込額35億2,311万4千円。公共施設等整備基金は、取崩額2億5,130万円、積立額1億6,925万6千円、年度末残高見込額39億7,542万5千円。減債基金は、取崩額0円、積立額2億1,013万9千円、年度末残高見込額5億354万4千円。合計で80億超となる。